外部機関・人材とも連携し、 誰一人取りこぼさず 進路選択に伴走する



▶ 秋留台高校(東京·都立)

取材・文/笹原風花

いては、全員が自分の手で自分の希望する けない、付け焼き刃的に進路を決めてしま も社会に出ればありません。進路指導にお う生徒がいるという課題があります。 つ傾向があります。 すべきときでも、周囲に頼ってしまうとい でがんばるべきときや、自分で考えて判断 て本校の場合は、サポートが厚いぶん、自分 「他校と同様、親や先生に言われないと動 。学校では補助があって 加え

進路選択を「自分ごと化 できるよう段階的に指導する

進路を選び取ることを目指しています」

考える・絞る」、3年次は「(進路を)固め 路を)知る・学ぶ」、2年次は「(進路を) る・決める」をスローガンに掲げ、 「自分ごと化」できるよう、1年次は「(進 秋留台高校では、 、生徒が進路選択 、3年間

従来は

、こういう進路があるよという

を通して段階的に指導している。

からは生徒自身が書いたり発表したりす ガイダンスが中心でしたが、2022年度

でき を見学したり企業の人事担当者の話を じています。また、3学期には 有するようにしています。 ックもしっかりと行うようにしました。こ る機会を増やし、それに対するフィードバ かることもあるので、 面談も行い れまでは1年次には行っていなかった三者 進路についての目線を合わせることが 、親子間でも初めてお互いの考えがわ 、保護者にも生徒の情報を共 、重要性を改めて感 三者面 上級学校 [談によ

> 協力してもらい、製造や保育、介護を きました。 得て、長くインターンシップに力を入れて 2022年度は通常通りに実施された。 ここ数年は中止や縮小が続いていたが ーンシップを体験する。コロナ禍の影響で 絞る」。7月には全員が3日間のインタ 心に、幅広い業種、職種から選択できる 「本校ではあきる野市の商工会の協力を 2年次のテーマは「(進路を)考える 近年は近隣の市の事業所にも



進路指導部主任 (進路アドバイザー検定合格認定) 割栢健太先生

聞いたりする校外学習も行っています.

らは内容を拡充し、

、総合的な探究の時

からスタート。2022年度の1年生か

年次は「(進路を)知る・学ぶ」こと

間をすべて進路探究の時間に充てている。

進路指導の課題とテーマ

1976年に東京都あきる野市に開校。現在は エンカレッジスクールとして、高校入学後に改めて 基礎から学び直したい、自分の可能性を伸ばした いという生徒を受け入れ、支援している。学習面で は自分のペースで着実に学べるようサポートする ほか、生活態度や身だしなみの指導、自己管理能 力の育成などにも力を入れ、自立した社会人にな ることを意識した教育を行っている。

進路指導では「補欠なき団体戦 |をモットーに、 生徒、教職員、外部機関・人材、保護者が一丸と なって「チーム秋留台」を形成し、生徒一人ひとり が希望する進路の実現に向けて取り組んでいる。 卒業後に職業能力開発センターや地域若者サポ ートステーション等で就職支援を受ける生徒を含 めて「進路実現率100%」を目指しており、2021 年度、2022年度は目標をほぼ達成した。

学校生活におけるさまざまなシーンでサポートが 手厚い反面、周囲からのサポートに頼ってしまい、 自らの進路を主体的に選択できない生徒が一定 数いるのが現状。その結果、進学後、就職後にミ スマッチを起こして辞めてしまうというケースもあ る。エンカレッジスクールとしての機能を発揮しつ つ、生徒の自立をいかに支援するかが課題となっ ている。

○進路状況(2023年3月実績)

大学進学25人、短大進学9人 専門学校進学71人、就職70人 その他31人、未決定1人

「その他」は、職業能力開発センターや地域若者サポ ートステーション等で就職支援を受けながら、就職を目 指す生徒。ここ数年は進学希望者がやや増える傾向 にある。

O School Data

1976年開校/普通科/東京都教育委員会指定「学びの基盤プロジ ェクト」研究協力校/生徒数620人(男子371人・女子249人)

ツール 「進路の手引き」 ※9>ロード回

働くとはどういうことか、なぜ大事なの 感じています。 ができたりするのも意味のあることだと 発見があ つたり 事前・事後学習を含めて、

を考える機会になるよう努めています_

以外のところに配属されることで思わぬ りにはいかないケースもありますが、 うになっています。もちろん生徒の希望通 普段できないような経験 希

> 生徒の多様な進路を実現する 教員間で情報や知識を共

ステージ。 実施する。 「就職ガイダンスにも進学ガイダンスに 3年次は には 就職と進 春 進路を決めきれない生徒には) (進: の三者 一学に分けてガイダンスを (路を) 面 一談で仮決めし、) 固める・決める」 6

月

も増加。 当たっている。 では 学校推薦型選抜 が るが、近年は総合型選抜を受験する生徒 も出席するよう指導している」という。 生徒の進路が多様なため、 一丸となって生徒 「補欠なき団体戦」をモットーに、 。志望理由書の添削や面接の練習 大学進学希望者の多くは、 (指定校推薦)で受験す 一人ひとりの指導に 、秋留台高校 教員

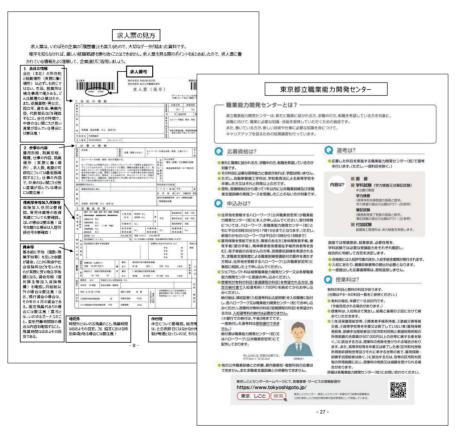
> 別指導を実施している。また、専門学校で は人気の学科はすぐに出願受付が締め切 本の定着を重視しているため復習が中 別に対応している。 クラス担任や進路指導部の 入試に学力試験がある場合も、 通常の授業は基礎・基 教員が個 個

フリーターと正社員との違い フリーターは、アルバイトなど「仕事はしているが無職」として扱われる人のことで、会社にとってはあくまでも翻縛の原用と見なされ、職業名でもありません。フリーターをいくう長く続けても、職歴(観察経歴)にはなりません。 職歴のないフリーターと職歴を積み無ねた正社員とでは、下の表に示したように待遇而ての差が生じるのは当 然です。 項 目 70-4-必要とされる期間・時間のみ。 雇用形態 用形態や役職、待遇面で もある。 1日 日 時間動務、週休 2 (文代観務の場合もある) 定額 + 定時間外に働いた 高半初任前 東京都の平 和 2 年) 年 2 回。業績等に応じては 交通費(住居手当) 家族 精動手当・資格手当・4 文代手当など会社による。 賃金形態·就業形態·社会保険 勤務形態 シフトに左右される。 給料 賞与(ボーナス) 日給月給制 交通費のみ (支給されない場合も ある)。 時 間 給 制 給与を 年 俸 制 1年間 諸手当 異給 (勤めた年表 ある場合が多い。 いわゆる正 社 員 財形貯蓄·企業年金·生団体加入。持5株制度·各種補助金制度等。 食堂施設·独身寮·社宅施設等。 福利厚生 A 普通はなし。 福利厚生 B 普通はなし 会社のカレンダーの定めたとおり。 有給休暇制度はなし(休んだ: 無給となる)。 休暇 健康保険・厚生年金加 負担)・労災保険・雇 険)。労災保険は全額、 以上会社が負担する。手 労災保険のみ。 その他は個人で加入。 社会保険制度 普通は勤務 3 年以上が 務年数に応じて支払われ 退職金

納税手続き 毎年確定申告(手続きは個人) 毎月の源泉徴耶 (手続は会社) ※上記は、あくまでも一般的な例であり、個々については異なる場合もある。

-5-

9 音 毎月の給与の類別はっており、年次有給を確認するわば欠後しても金額支払のれる。 給与日間で付担、他、た日数が応用与が多払のれる。 毎月の給与の類は決まっているが、年次有給体和以外の欠勤が加工に整合、その分を目割では から組入りである。日本の会社の大部分は、この日給料給剥を採用している。 計問額で計算し、働いた時間分だけ給与が支払われる。 D給与をあらかじめ設定し、その額を 12 等分以上に分け支払われる 法律上の定義はない。大多数の企業は、①無期労働契約、② 1日の所定労働時間がフ は住したご覧はない、大多和の企業は、公園物学機製は、① 1日の所立労働制限が 人かイム、③面接機用、以上の3条件を選出した労働者を正社費とする。 パートライム労働者には、1回面の所定労働制度が同一の事業所で国用される通常の労働者(いつからは土資)の11回面の所定労働制度が同一の事業所で国用される通常の労働者(いつからは土資)の11回面の所定労働制度は1回主義となり、日本の公司ので、利用の企業とので、日本の企業となり、利用の企業との企業となり、利用の企業との企業となり、利用の企業との企業となり、利用の企業との企業となり、利用の企業との企業となり、利用の企業となり、企業を含む、企業を含む 健康 厚生年金保険 雇用保険 災保険」で診療を受けることになる。診療にかかった費用は、全て保険からの支出となる。保険 は、会社が全額を負担し、社員の負担はない。アルバイトなども全員加入する。



「進路の手引き」を、全生徒に毎年配布。フリーターと正社員の違い、賃金形態・就業形態の違いや社会保険の種類など、「社 会に出るうえでは基本となるが、高校生は知らないこと」が詰まった1冊になっている。また、職業能力開発センターの紹介にも ページを割き、詳しく情報を発信している。

様なぶん注意すべき事項も多い

られるためスピードが重要など、進路が多

が一人で抱えるのではなく、それぞれの のアドバイスに直結しますから、外部の研 けの推薦入校制度もある。 生徒に提示している。職業能力開発セン 発センターで訓練を受ける」という道を もう一つの選択肢として、「職業能力盟 進学と就職の二択だが、秋留台高校では いく環境をつくることを意識しています. 識を共有し、みんなで一人の生徒を見て 教員がもっている情報や詳しい分野の知 が求められます。一方で、個の力以上に 修に行くなどしてスキルアップすること 指導の知識や経験は不可欠です。生徒へ をはじめ進路指導部の教員が立ち会う ど専門的な情報が求められる場合は、私 す。また、3年生の三者面談で、奨学金な 進路関係の情報を迅速に共有していま 行う機関で、高校卒業見込みの生徒向 大事なのが、チームで動くことです。担任 こともあります。高校教員にとって、進路 室の3年生の担任団の中に席をもらい 「進路指導部主任になってからは、職員 般的には高校生の卒業後の進路は 、就労希望者に向けて職業訓練を

1・2年次の校外学習で、調理専門学校を訪

1・2年次の校外学習で、調理専門学校を訪れる生徒たち。 真剣な表情で先生の話に耳を傾ける。

場合は、とても良い選択肢だと思います」と年まで訓練期間は職能によりさまざまと年まで訓練期間は職能によりさまざまと年まで訓練期間は職能によりさまざまりません。職業能力開発センターなら費りません。職業能力開発センターなら費用も抑えられますし、施設もスタッフも充用も抑えられますし、施設もスタッフも充力を付いる。職業能力開発をしており、就業を付いる。とので、自りません。職業能力開発をしており専門学校に遜色ないので、自りません。職業能力開発をしており専門学校に遜色ないので、自りませい。

との連携で卒業後もサポート

秋留台高校の進路指導の特徴が、外部 秋留台高校の進路指導の特徴が、外部 機関との積極的な連携だ。生徒の進路選 機関との積極的な連携だ。生徒の進路 (水田) はいる。

います。登録者には卒業後もステーショうわけではありません。卒業後にミスマッうわけではありません。卒業後にミスマッうわけではありません。卒業後にミスマッらを起こして辞めてしまう可能性もありません。卒業後にミスマックを表している。

り、今後も継続する予定です」り、今後も継続する予定です」り、今後も継続する予定です」と連携していて、月1日がに乗ってもらえます。また、学校とはが進路について相談できる場を設けています。今年1月からはキャリアカウンセラーによるキャリア講座を開講しており、今後も継続する予定です」

千葉県警察に合格した。 県警察に合格したほか、卒業生が1浪でら3年間受講した生徒が現役で神奈川座を開講。2022年度には、1年次か座を開講。2022年度には、1年次かのがある。

「これまでも警察官や消防士になりたいと

とを、とても嬉しく思います」とを、とても嬉しく思います」となっても達がかかなくありませんでした。なんとかしたが少なくありませんでした。なんとかしたが少なくありませんでした。なんとかしたが、意志はあっても学いう生徒がいましたが、意志はあっても学いう生徒がいましたが、意志はあっても学いう生徒がいましたが、意志はあっても学いう生徒がいましたが、意志はあっても学い

成果と課題

景 意識が高まり積極的に 進路探究の拡充で、

見えてきたと、割栢先生は言う。てるようになり、早くも生徒に変化がな探究の時間を丸ごと進路探究に充との222年度から1年次の総合的

1年生はすごく意識が高いね』と言っていただいた際に、生徒自らカリキュラスや学費について積極的に聞きたいことが見られました。具体的に聞きたいことがある、自分から質問ができるというのは、本校の生徒にとっては大きな成長だと感じます。その先生からも、『今年のと感じます。その先生からも、『今年の長業に来「専門学校の先生に1年生の授業に来

いただきました。この学年からは二者面談、三者面談の回数も増やしていますし、2年次以降がとても楽しみです」し、2年次以降がとても楽しみです」。 また、今後に向けては、「継続して、また、今後に向けては、「継続して、

「生徒に進路を自覚させるためにも、「生徒に進路を自覚させるためにも、教員が生徒の進路に対して熟意をもっていることが大事だと思います。進学校も進路多様校も経験して実感したのが、教員がしつかりと引っ張っていてきてくれる、という本質は変わらいてきてくれる、という本質は変わらいたいうこと。これからも大切にしていきたいです」